

Microsoft OutlookをCisco Unified CallManager Expressで利用する

内容

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[ネットワーク図](#)

[表記法](#)

[背景](#)

[インストールおよび設定](#)

[設定例](#)

[手順ごとの説明](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Microsoft Outlook を Cisco Unified CallManager Express で使用するための手順について説明します。Cisco CallManager Express の電話の設定、パーソナル コンピュータ (PC) 上の Cisco CallManager Express Telephone Service Provider と Cisco IOSTspLite ドライバのインストール、Cisco CallManager Express によって制御される電話に代わる Microsoft Outlook による着信側のダイヤルを示します。

前提条件

要件

この設定を行う前に、次の要件が満たされていることを確認します。

- Cisco Unified CallManager Express
- Microsoft Office Outlook

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- Cisco Unified CallManager Expressバージョン4.x
- Microsoft Office Outlook 2003

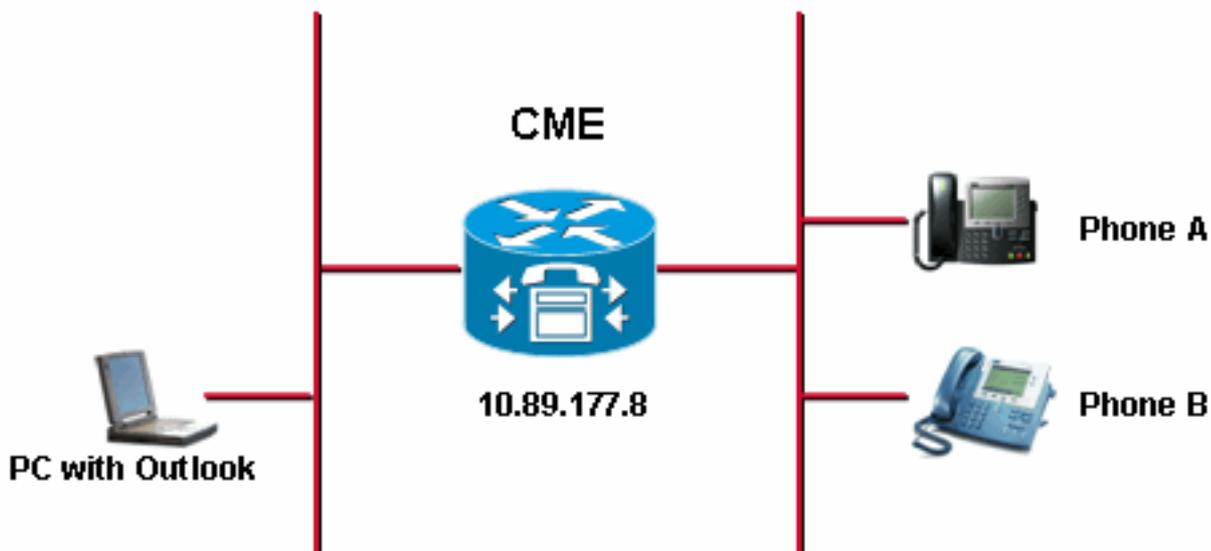
このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期（デフォルト）設定の状態から起動しています。対象のネットワークが実稼働中である場合には、どのようなコマンドについても、その潜在的な影響について確実に理解しておく必要があります。

[ネットワーク図](#)

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。 [図1](#)を参照してください。

- Cisco 3845で稼働するCisco Unified CallManager Express
- Cisco CallManager Expressによって制御される2台のIP Phone
- Microsoft Windows XPおよびMicrosoft Office Outlookを実行する1台のパーソナルコンピュータ

図 1：ネットワーク ダイアグラム



[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細については、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

[背景](#)

このドキュメントの目的は、次のタスクを実行することです。

- Windows XP Professionalが稼働するPCにCisco Unified CallManager Express Telephony Service Providerをインストールします。
- Windows XP Professionalが稼働しているPCにCisco IOSTspLiteドライバをインストールします。
- Microsoft Outlookを使用して、Cisco Unified CallManager Expressに登録されているIP

Phoneを制御し、Microsoft Outlookを使用して別の電話にダイヤルします。

インストールおよび設定

設定例

設定を開始する前に、Cisco Unified CallManager Expressが完全にテストされ、正常に動作していることを前提としています。これら2つの電話機は、このCisco Unified CallManager Expressによって制御されます。これら2台の電話機の設定を次に示します。

- 電話機A

```
!--- Line 1 for Phone A ephone-dn 2 number 1000 label 1000 preference 1 call-forward busy 9999 call-forward noan 9999 timeout 10 no huntstop !--- Line 2 for Phone A ephone-dn 4 number A3005 label A3005 name Intecom from Rob intercom A3006 !--- Line 3 for Phone A ephone-dn 6 2000 label "Paging System" number 61720 pickup-group 5001 label 61720 description 5137426172 call-forward all 7000' call-forward busy 7000 call-forward noan 7000 timeout 10 night-service bell !--- Phone A Configuration ephone 3 description 1000 username "ksaxon" password test mac-address 000A.8A67.5313 type 7960 keep-conference endcall button 1:2 2:4 3:6
```

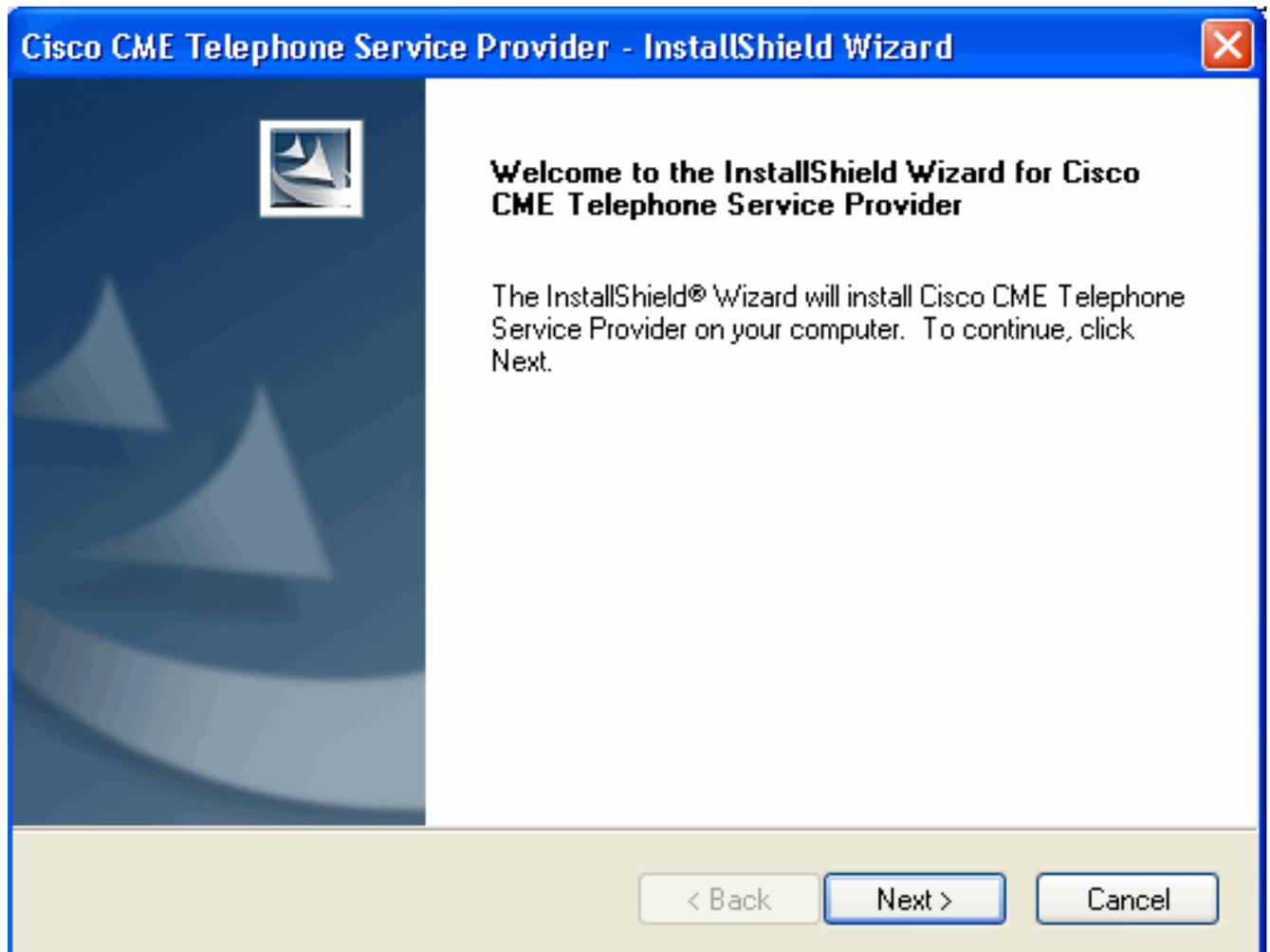
- 電話機B

```
!--- Line 1 for Phone B ephone-dn 8 number 7970 label 7970 call-forward busy 9999 call-forward noan 9999 timeout 10 !--- Line 2 for Phone B ephone-dn 10 number 8970 label 8970 !--- Line 3 for Phone B ephone-dn 12 number 9970 label 9970 !--- Line 4 for Phone B ephone-dn 14 number A3006 label A3006 name Intercom from Rob intercom A300510.C6E2.8F2D !--- Phone B Configuration ephone 7 description 7971 mac-address 0011.92BA.1B12 type 7971 button 1:8 2:10 3:12 4:6
```

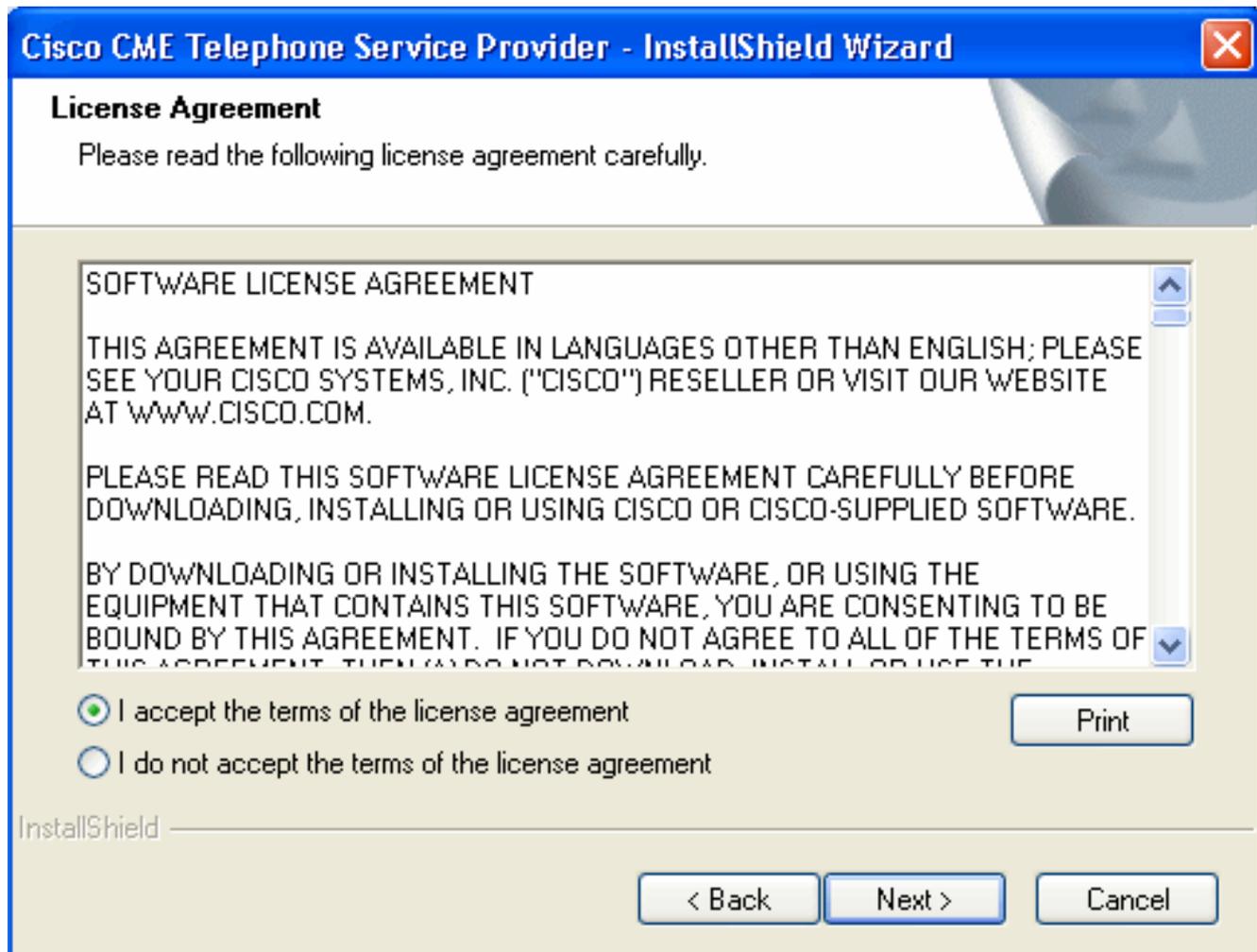
手順ごとの説明

次のステップを実行します。

1. Cisco Unified CallManager Express Telephony Service Providerをインストールします。CiscoUnifiedCMETSPSetup201.exeを実行します。Cisco Unified CallManager Express TSP 2.0セットアップウィザードが表示されます。図 2 を参照してください。図 2 : Cisco Unified CME TSP 2.0セットアップウィザード



[next] をクリックします。[License Agreement]ウィンドウが表示されます。[図 3 を参照してください。](#) 図 3 : ライセンス契約



[I accept the terms of the license agreement]オプションボタンをクリックし、[Next]をクリックします。[Customer Information]ウィンドウが表示されます。図 4 を参照してください。
。 図 4 : 顧客情報

Cisco CME Telephone Service Provider - InstallShield Wizard

Customer Information

Please enter your information.

Please enter your name and the name of the company for which you work.

User Name:

Company Name:

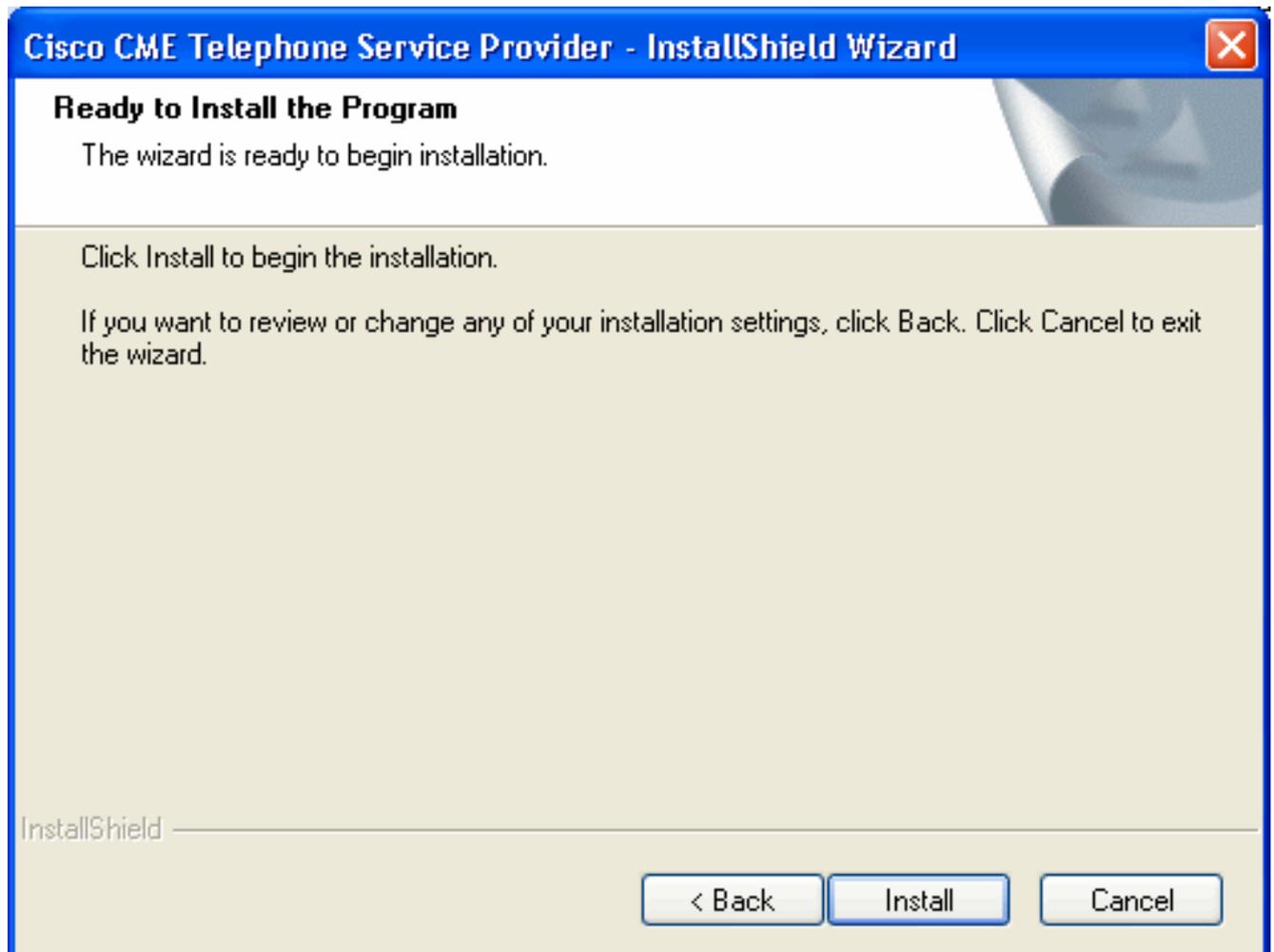
InstallShield

< Back Next > Cancel

[ユーザ名]フィールドと[会社名]フィールドに入力します。[Next]をクリックし、[Setup Type]ウィンドウが表示されます。[図 5 を参照してください。](#) 図 5 : セットアップの種類



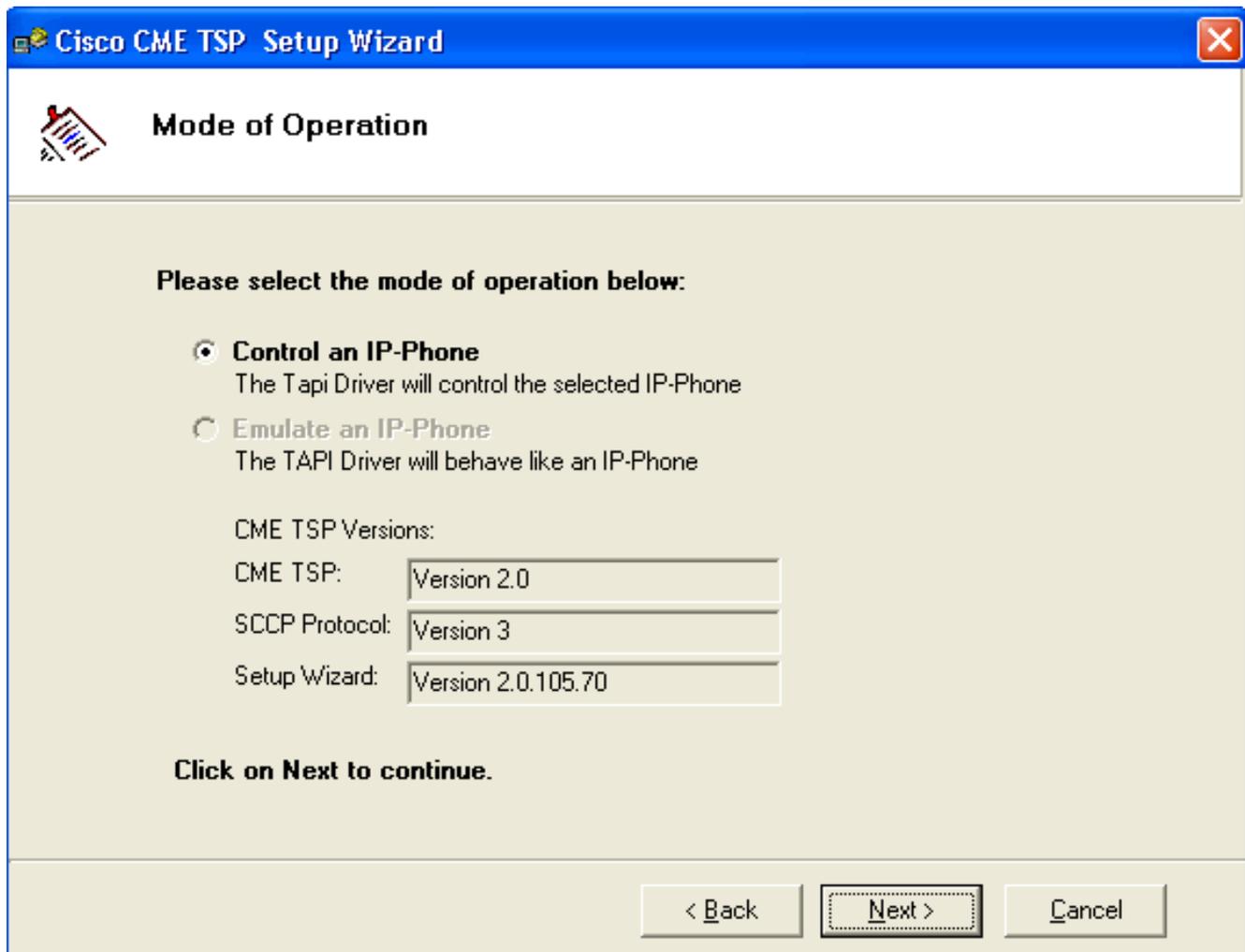
[Complete]ラジオボタンをクリックし、[Next]をクリックします。[Ready to Install the Program]ウィンドウが表示されます。 [図 6 を参照してください。](#) 図 6 : プログラムのインストール準備完了



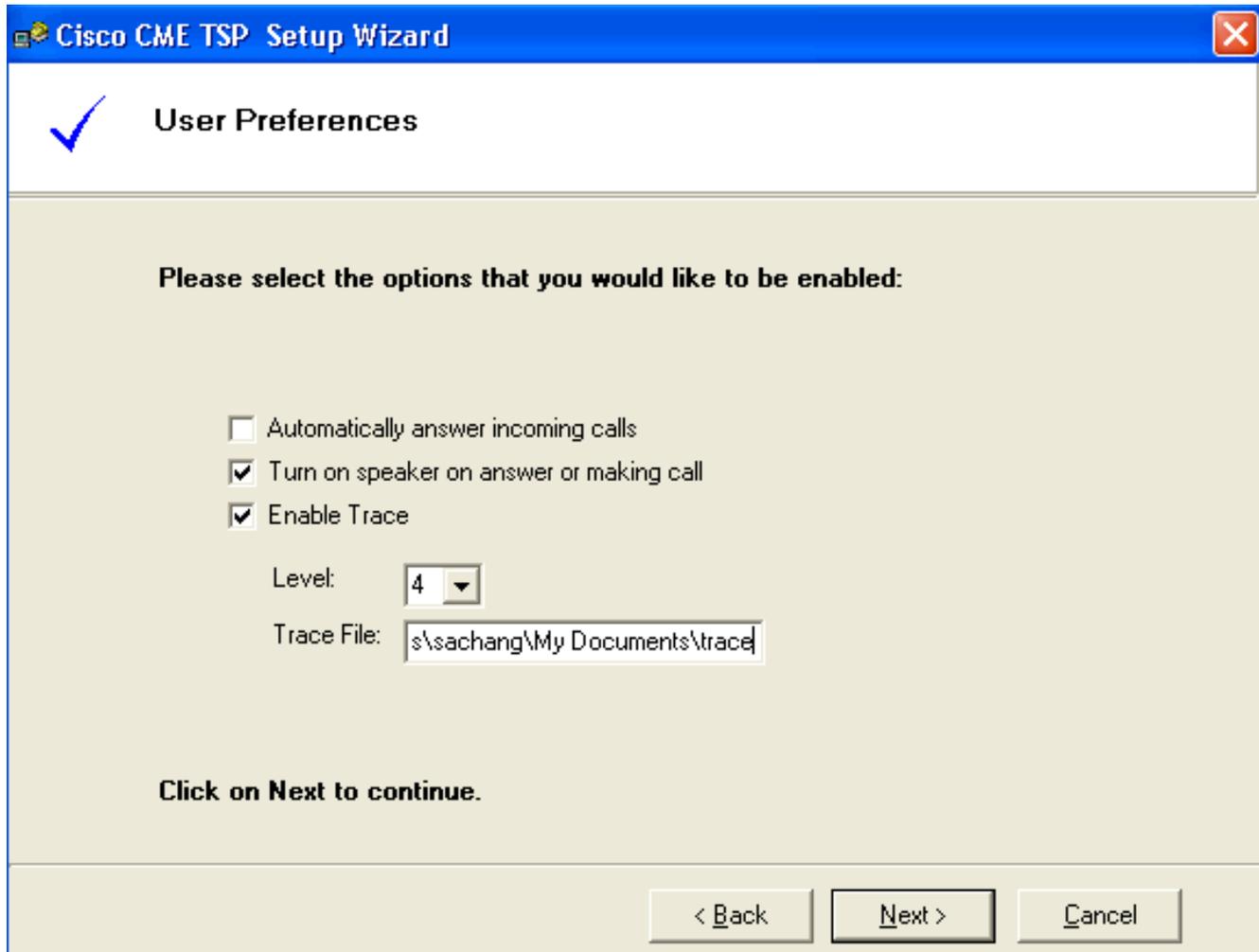
[INSTALL] をクリックします。[Welcome to Cisco CME TSP Setup Wizard]ウィンドウが表示されます。[図 7 を参照してください。](#) **図 7 : Cisco CME TSPセットアップウィザードへようこそ**



[next] をクリックします。Mode of Operationウィンドウが表示されます。図 8 を参照してください。図 8 : 動作モード



[Control an IP-Phone]をクリックし、[Next]をクリックします。[User Preferences]ウィンドウが表示されます。図 9 を参照してください。図 9 : ユーザ設定



[Turn on speaker on answer or making call]チェックボックスをオンにし、[Enable Trace]をオンにします。トレースレベルを選択し、トレースファイルパスを入力します。[next] をクリックします。[Account Information]ウィンドウが表示されます。 [図 10 を参照してください。](#)

図 10 : アカウント情報

Cisco CME TSP Setup Wizard

Account Information

Please enter your account information below:

CME IP-Address:

Port:

User Name:

Password:

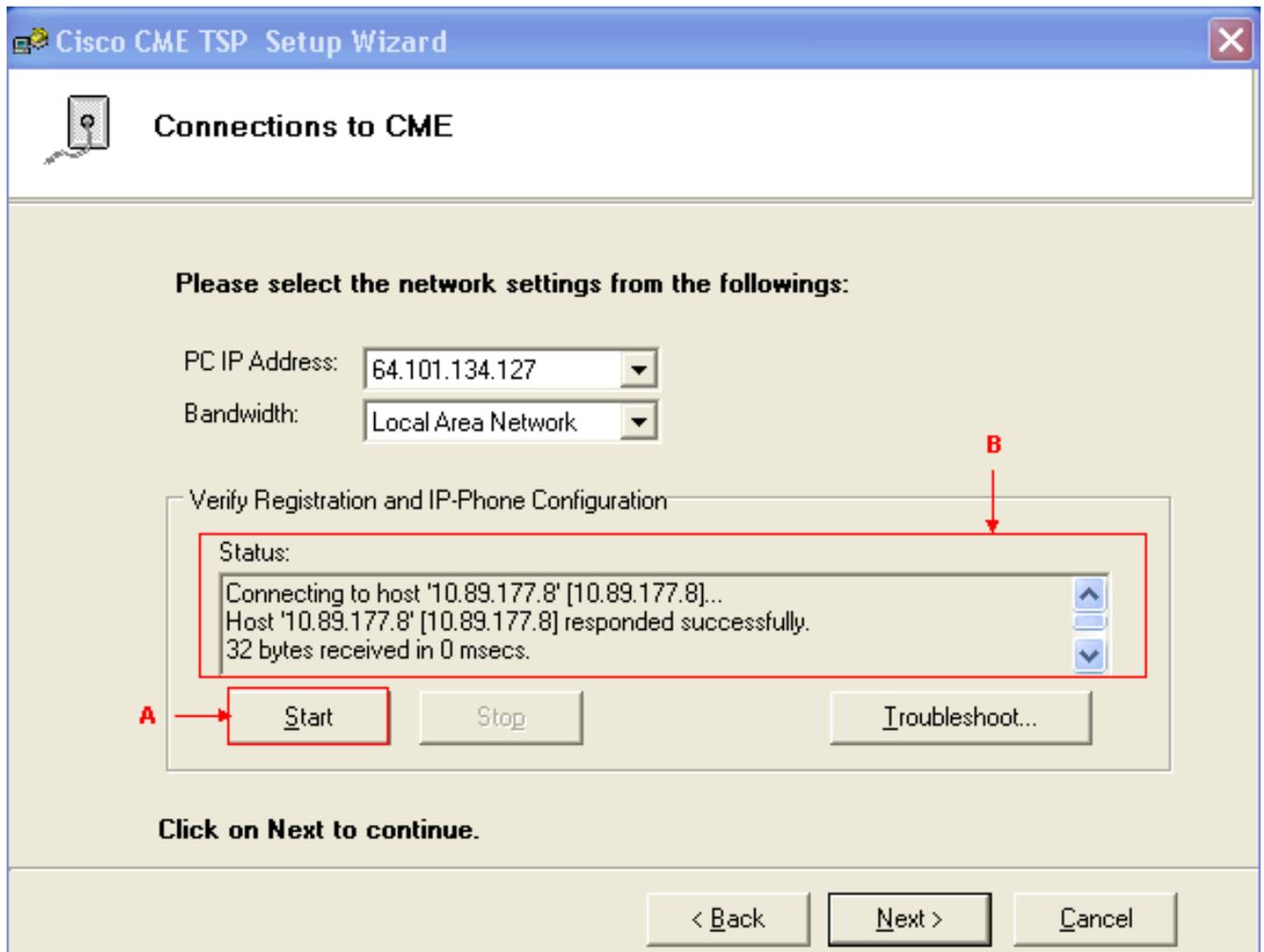
Verify Password:

Region/Service Provider:

Click on Next to continue.

< Back Next > Cancel

CME IP-Address、Port、User Name、Password、およびVerify Passwordを入力します。
[next] をクリックします。[Connections to CME]ウィンドウが表示されます。[図 11 を参照してください。](#) 図 11 : CMEへの接続

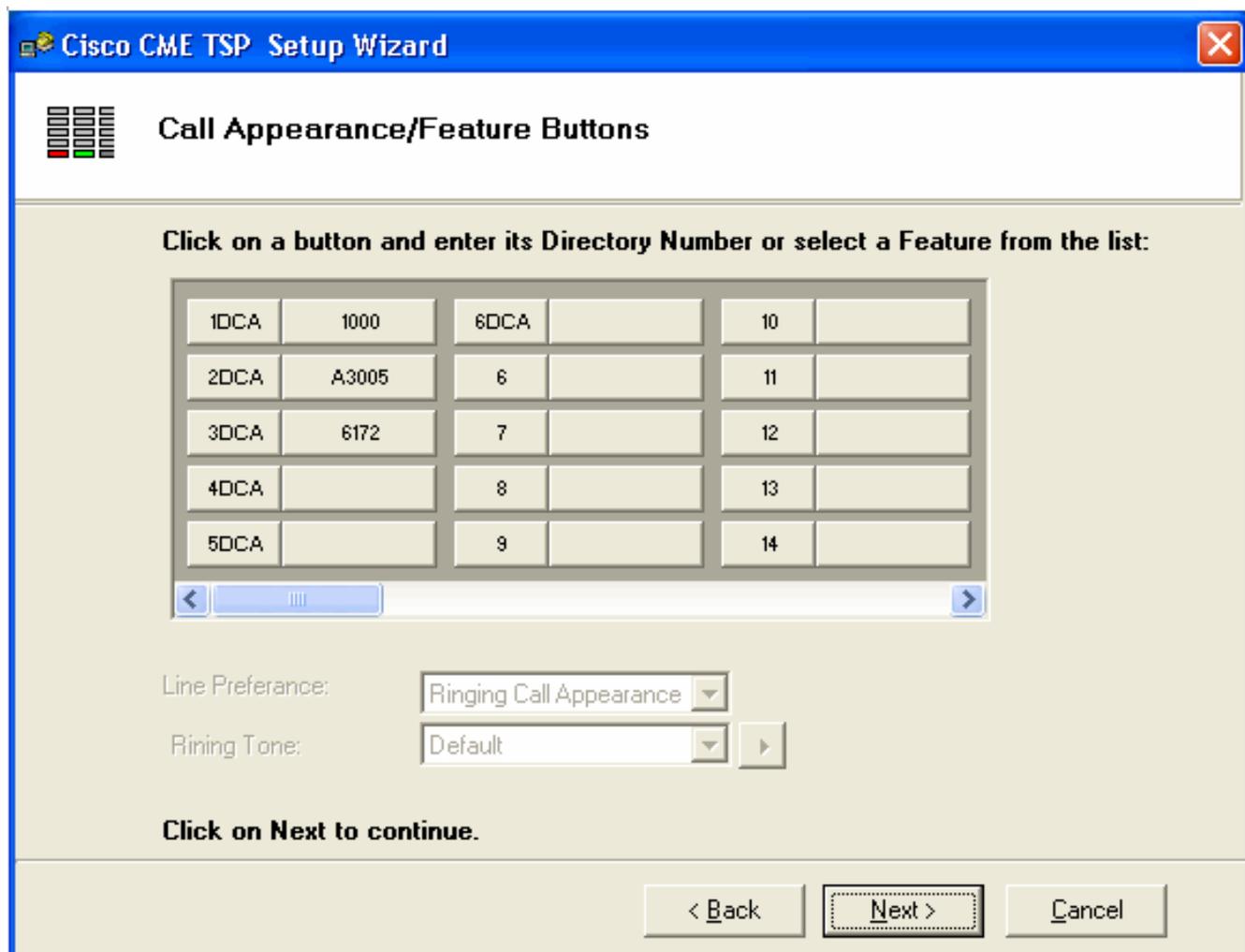


各ドロップダウンリストからPCのIPアドレスと帯域幅を選択します。[Start (スタート)] をクリックします。図11の矢印Aを参照してください。PCがCisco Unified CallManager Expressに正常に接続しているかどうかを確認するには、[Status]リストボックスのすべてのメッセージを確認します。図11の矢印Bを参照してください。これは、PCとCisco Unified CallManager Express間の正常な接続を表します。このメッセージに基づいて、PCはCisco CallManager Expressの制御下で3回線が定義された1台の電話機を正常に制御できます。

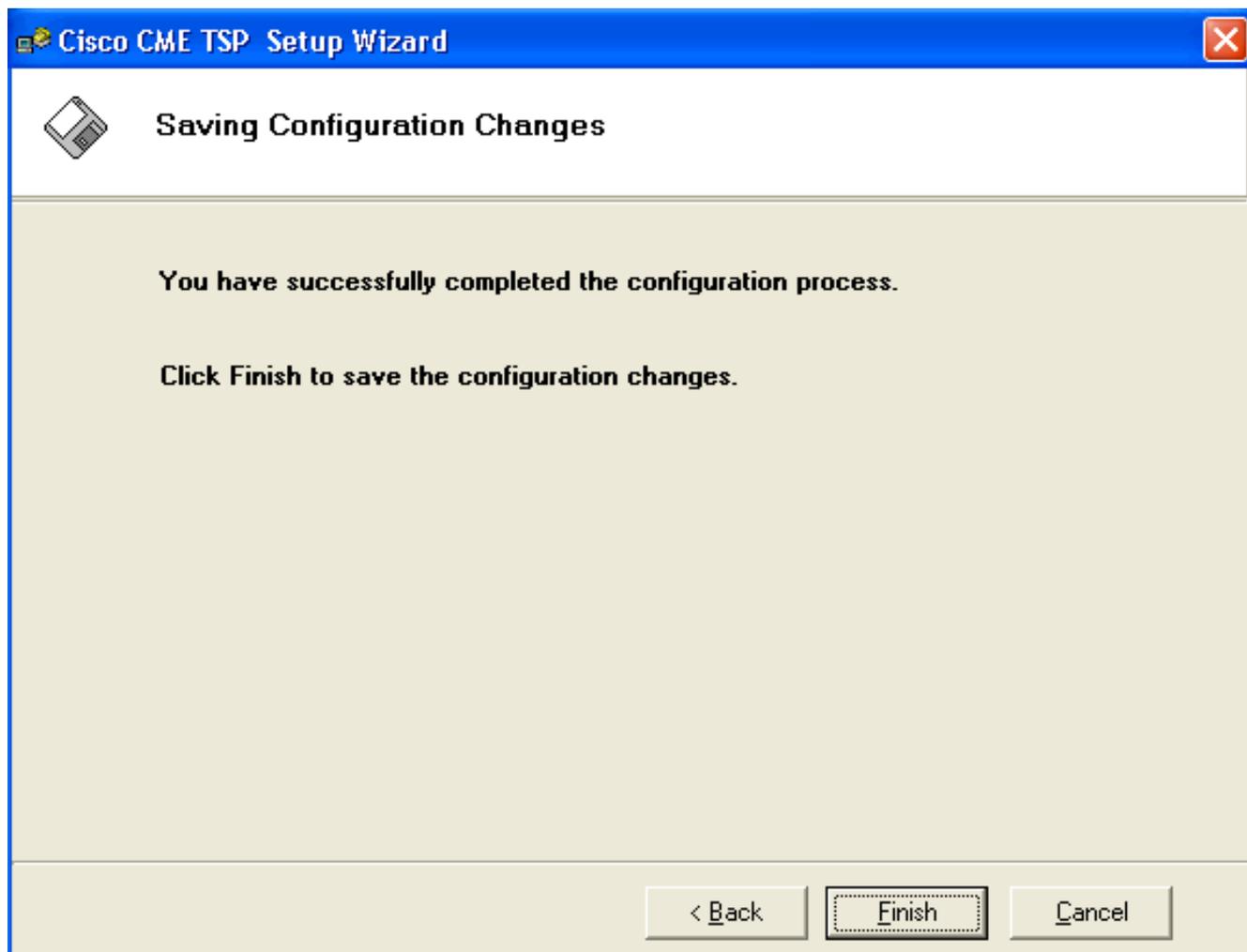
```
Connecting to host '10.89.177.8' [10.89.177.8]...
Host '10.89.177.8' [10.89.177.8] responded successfully.
32 bytes received in 0 msec.
Found Router : 10.89.177.8
Success : Registered user with 10.89.177.8
Found line : lineInst 1 dirNumber 1000 displayName 1000
Found line : lineInst 2 dirNumber A3005 displayName A3005
Found line : lineInst 3 dirNumber 6172 displayName 6172
Found line : lineInst 4 dirNumber
Found line : lineInst 5 dirNumber
Found line : lineInst 6 dirNumber
```

[next] をクリックします。[コールアピアランス/機能ボタン(Call Appearance/Feature Buttons)]ウィンドウが表示されます。図12を参照してください。これは、手順15のステータスリストボックスのメッセージと一致する3つの回線が設定された特定の電話機を表します。

。 図 12 : コールアピアランス/機能ボタン



[next] をクリックします。[Saving Configuration Changes]ウィンドウが表示されます。図 13 を参照してください。図 13 : 設定変更の保存



[Finish] をクリックします。PC を再起動します。

2. CiscloSTspLiteドライバをインストールするには、次の手順を実行します
CiscloSTspLit1.3.exeを実行します。[Welcome to the InstallShield Wizard for CiscloSTspLite1.3]ウィンドウが表示されます。図 14 を参照してください。図 14 : CiscloSTspLite1.3用InstallShield Wizard



Welcome to the InstallShield Wizard for CiscoIOSTspLite1.3

The InstallShield(R) Wizard will install CiscoIOSTspLite1.3 on your computer. To continue, click Next.



WARNING: This program is protected by copyright law and international treaties.

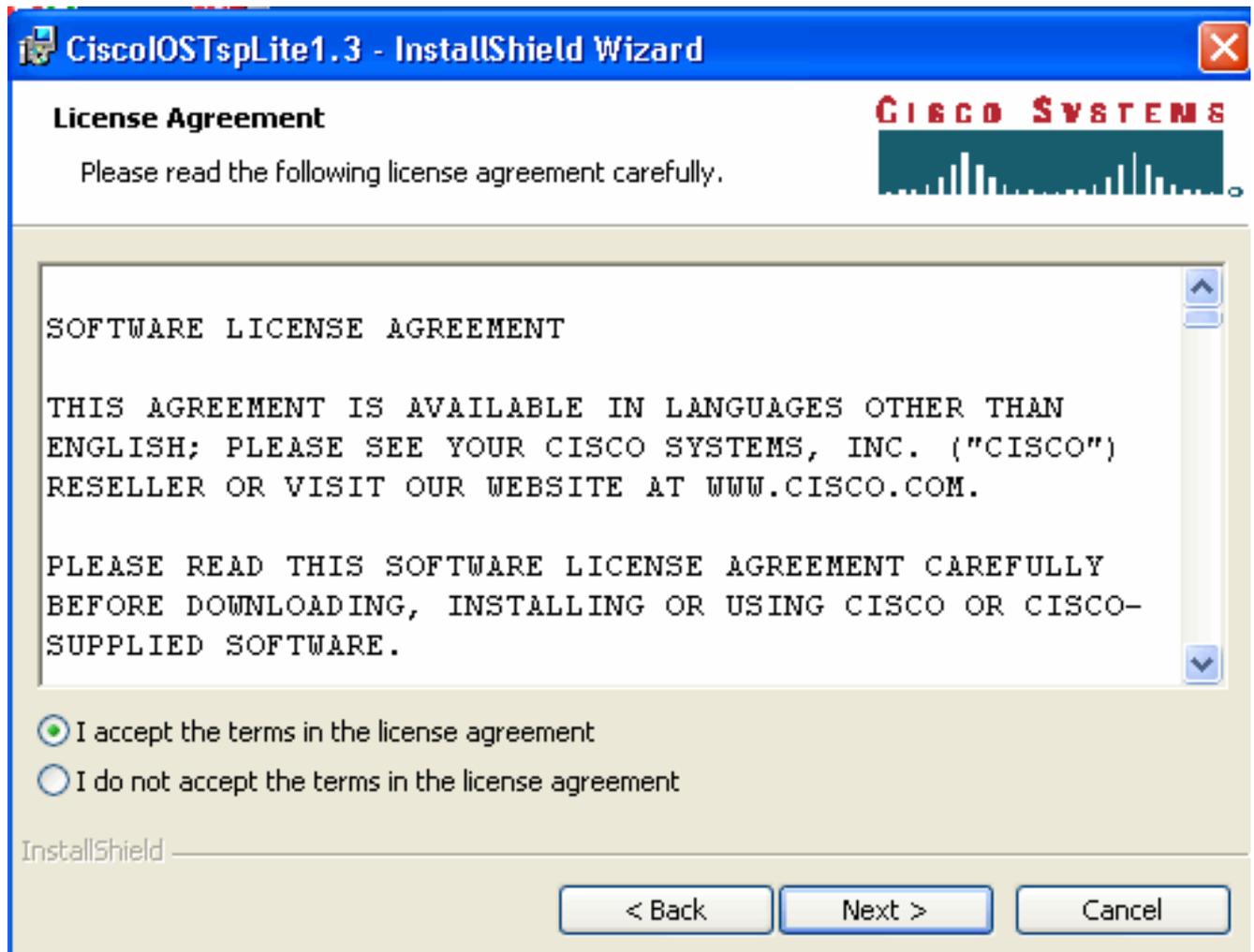
Copyright © 2001-2004 Cisco Systems, Inc.,

< Back

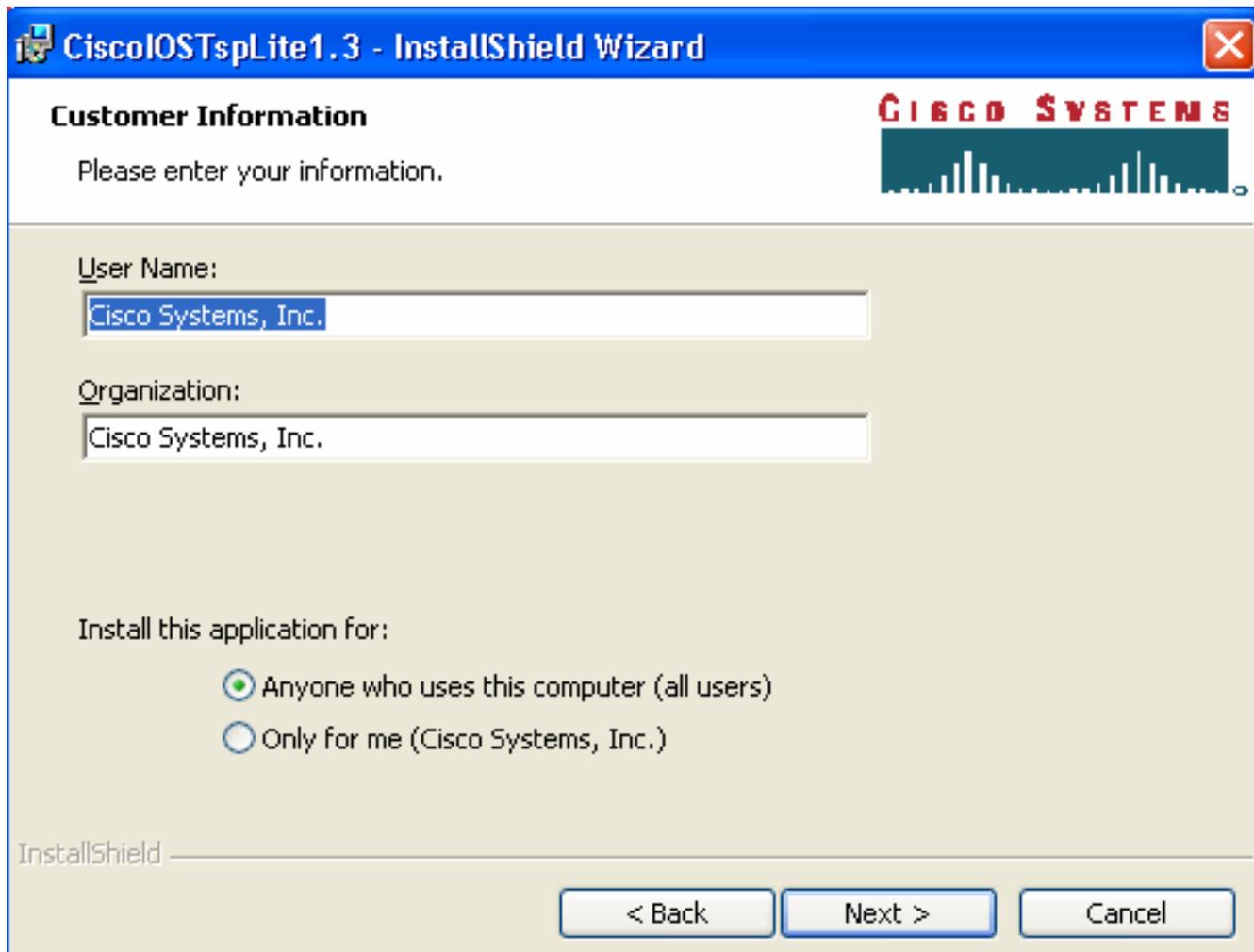
Next >

Cancel

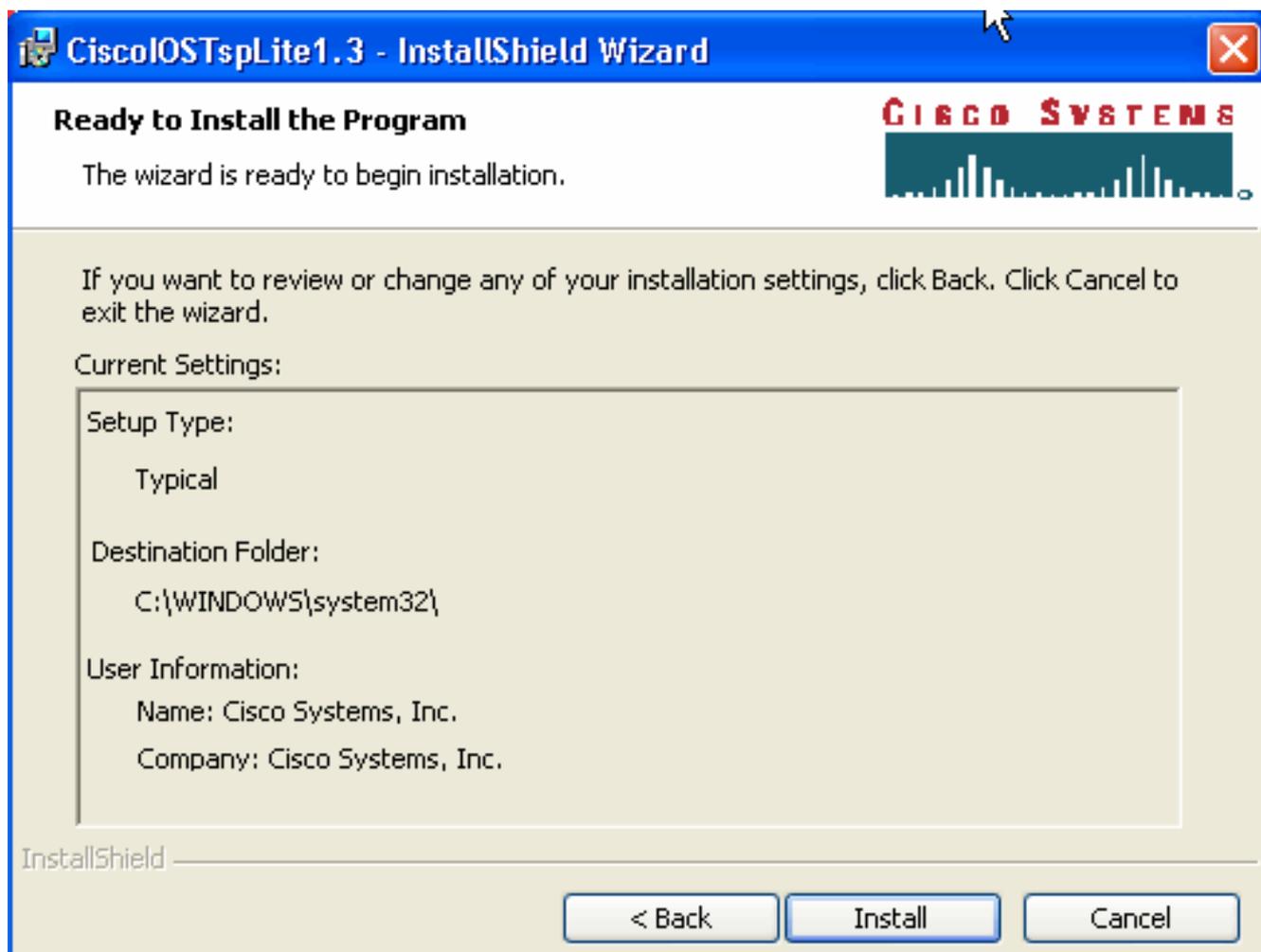
[next] をクリックします。[License Agreement]ウィンドウが表示されます。図 15 を参照してください。図 15 : ライセンス契約(CiscoIOSTspLite1.3)



[I accept the terms in the license agreement]をクリックし、[Next]をクリックします。
[Customer Information]ウィンドウが表示されます。図 16 を参照してください。図 16 : 顧客
情報(CiscoIOSTspLite1.3)



[ユーザ名(User Name)]フィールドと[組織(Organization)]フィールドに入力します。[next] をクリックします。[Ready to Install the Program]ウィンドウが表示されます。図 17 を参照してください。図 17 : プログラムのインストール準備完了



[INSTALL] をクリックします。[Cisco IOS Telephony Service Provider]ウィンドウが表示されます。図18を参照してください。図10に示すように、ユーザ名とパスワードはユーザ名とパスワードと一致する必要があります。図 18 : Cisco IOSテレフォニーサービスプロバイ

Cisco IOS Telephony Service Provider

Version : 1.3

Security

User Name: ksoxon

Password: ****

Verify Password: ****

Cisco IOS Telephony Service Connectivity

IP Address: 10.89.177.8

Name:

Port: 2000

Synchronous Message Timeout

Message TimeOut (Sec): 3

MultiMedia

Using HeadSet

Trace

Trace

Trace File C:\Documents and Settings\sachang\My

OK Cancel

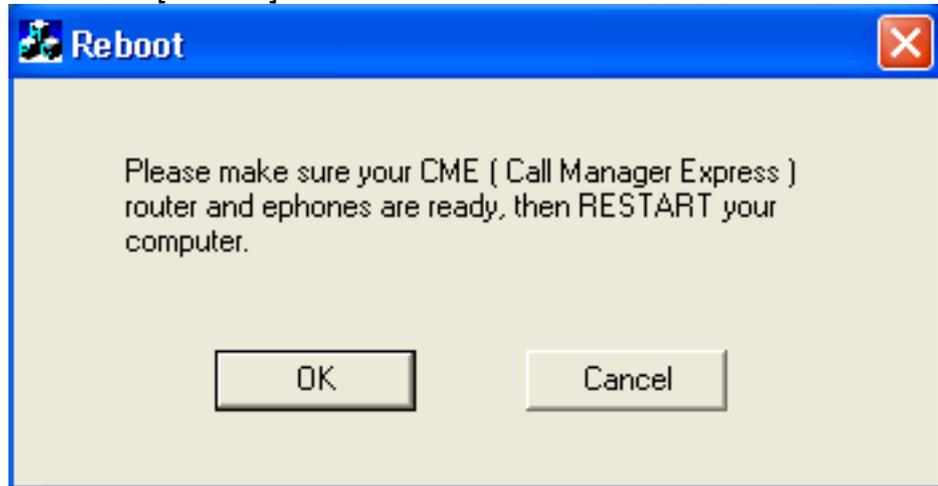
ダー

[OK] をクリックします。

[InstallShield Wizard Completed]ウィンドウが表示されます。 図 19 : InstallShieldウィザードの完了



[Finish] をクリックします。[Reboot]ウィンドウが表示されます。図 20 を参照してください



。図 20 : Reboot [OK]をクリックして、PCをリブートします。

確認

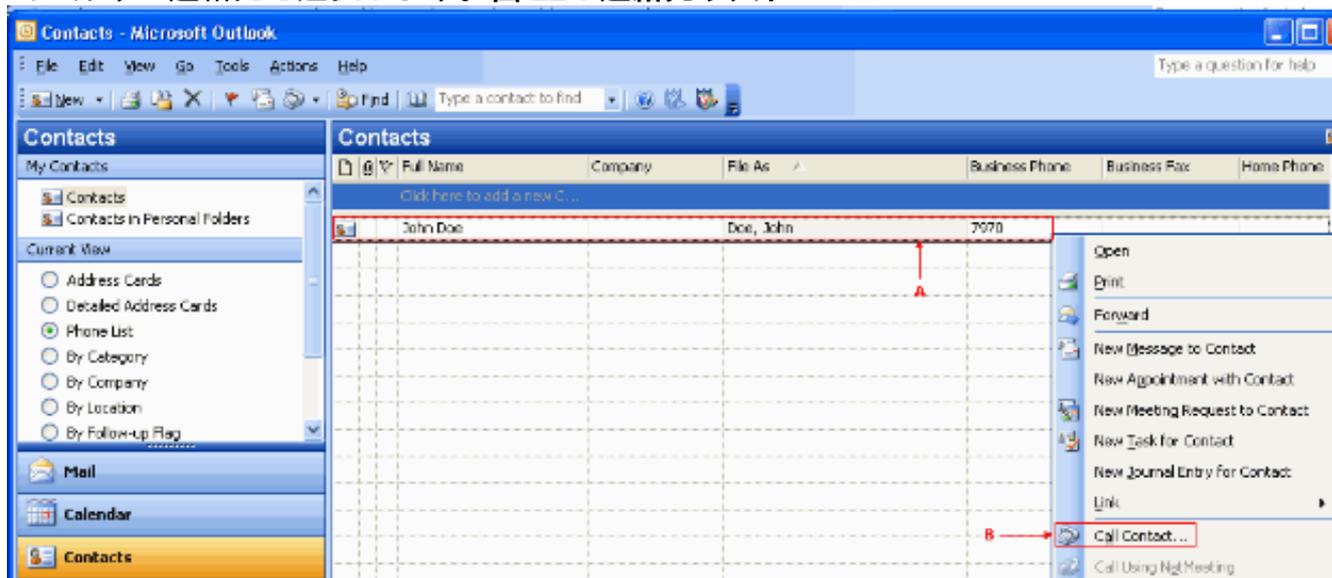
Cisco Unified CallManager Expressにログインし、**show ephone**コマンドを発行できます。図 21はshow ephoneの抽出です。これは、IPアドレスが64.101.134.165のPCがephone-3を制御することを表します。ユーザ名はksaxonで、ステータスが登録されていることを示します。図21の矢印Aを参照してください。

図 21 : Ephoneの表示

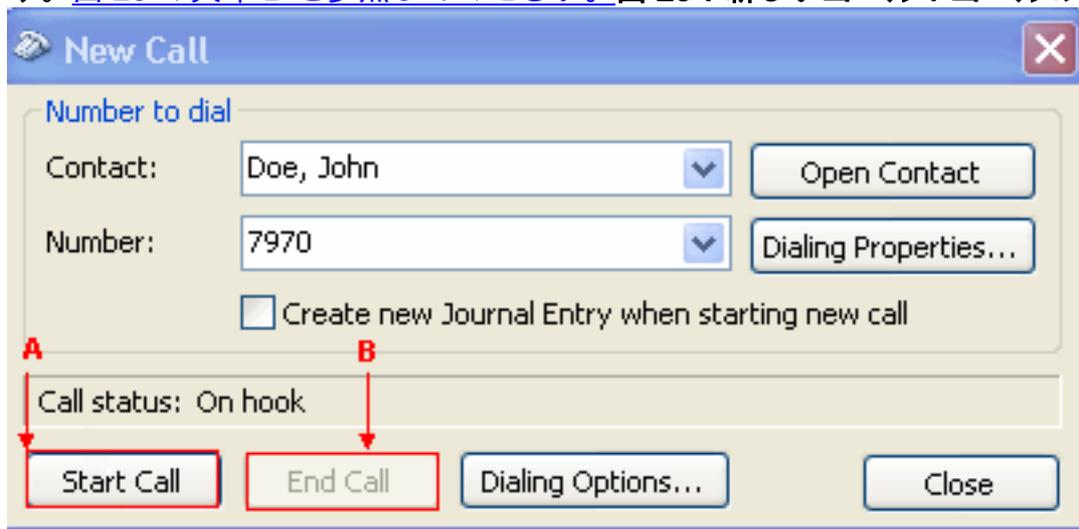
```
ephone-3 Mac:000A.8A67.5313 TCP socket:[1] activeLine:0 REGISTERED in SCCP ver 4
mediaActive:0 offhook:0 ringing:0 reset:0 reset_sent:0 paging 0 debug:0
IP:172.16.100.3 52864 Telecaster 7960 keepalive 6145 max_line 6
button 1: dn 17 number 1000 CH1 IDLE
button 2: dn 5 number A3005 auto dial A3006 CH1 IDLE
button 3: dn 27 number 6172 cfa 7000 CH1 IDLE
Username: ksoxon Password: test
Tapi client information
Username: ksoxon status: REGISTERED Socket : [2]
Tapi Client IP address: 64.101.134.165 Port: 1305
```

次に、Cisco Unified CallManager Expressで制御される電話機を表すMicrosoft Outlookの連絡先にダイヤルします。

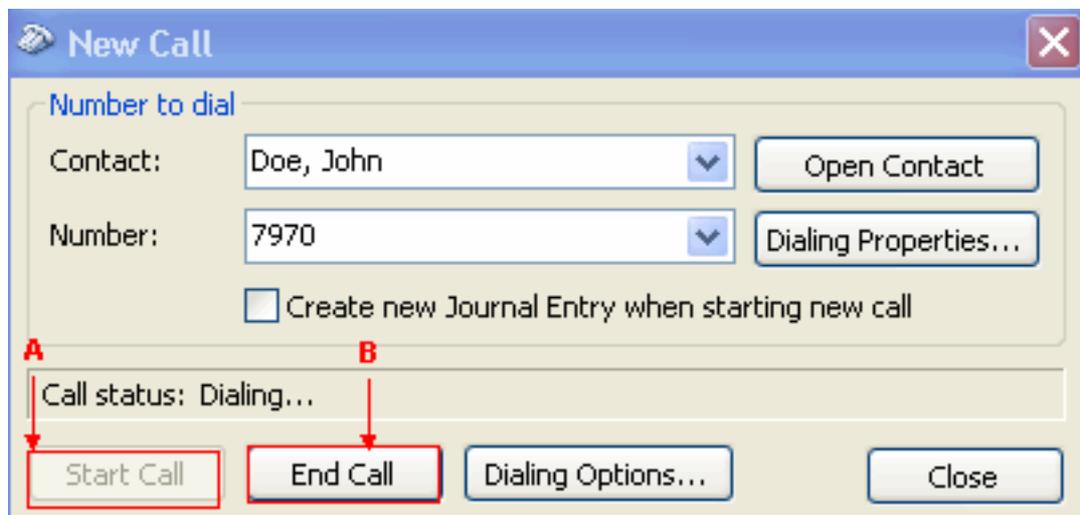
1. Microsoft Outlookを開き、[連絡先]フォルダを開きます。図 22 を参照してください。
2. コールする連絡先を選択します。図 22 : 連絡先リスト



3. 選択した連絡先を右クリックします。図22の矢印Aを参照してください。次に、ドロップダウンリストから[Call Contacts]を選択します。図22の矢印Bを参照してください。[New Call]ウィンドウが表示されます。図23を参照し、[End Call]ボタンはグレー表示されています。図 23 の矢印 B を参照してください。図 23 : 新しいコール : コールの開始



4. [通話の開始]をクリックします。図 23 の矢印 A を参照してください。
5. コールが成功すると、[Start Call]ボタンはグレー表示されます。図 24 の矢印 A を参照してください。図 24 : 新しいコール – 終了



6. PC上のスピーカーやヘッドフォンなどのオーディオデバイスを使用して、着信側と通話できます。
7. [End Call]をクリックして、コールを終了します。[図 24 の矢印 B を参照してください。](#)

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

関連情報

- [音声に関する技術サポート](#)
- [音声とユニファイド コミュニケーションに関する製品サポート](#)
- [Cisco IP Telephony のトラブルシューティング](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント - Cisco Systems](#)